

太陽光発電トラブルも拡大

高額契約「注意を」

太陽光発電システムの契約をめぐるトラブルが県内で急増している。環境意識の高まりなどを背景に一般家庭にも普及し始めたが、販売業者が工事が完成しないまま倒産したり、工事を行う資金力がないのに契約を結んだりする事例も報告されている。契約金額が高額なことから、県消費生活センターは「契約の際は、複数の業者で見積もりをするなどして見極めてほしい」と呼びかけている。

同センターによると、2009年度に寄せられた太陽光発電の設置に関する苦情・相談件数は71件。40件前後で推移していた04～08年度と比べ、約1.7倍に増えた。苦情・相談を契約形態別に見ると、訪問販売の割合が高く、「(電力会社に電力を売る)売電をすればローンが賄える」「モニター料が出る」などの話を信じて契約したものの、実際は異なっていた例が多い。

具体的には「売電で月数万円のローンが支払えると言われ契約したが、数千円にしかならなかった」「商品が製造中止になっていたり、存在しない型番号だった」などの苦情・相談があった。工事が終わらないまま業者と連絡が取れなくなったケースもあった。データがまとまっている08年度は、相談者のうち40～60歳代が77%を占めており、1人当たりの契約金額は300万円台が中心で、1000万円台の契約を結んだ人もいた。

県警は今年1月、県南・県西地域などで「太陽住研」の名を使い、太陽光発電やオール電化システムの設置代名目で金をだまし取ったとして、埼玉県の住宅機器販売・設備業の男(38)と、千葉県の会社員の男(75)を詐欺容疑で逮捕した。2人は08年、取手市などの男性会社員方を訪問し、「モニターになれば、今なら40万円値引きする。モニター料は5年間、月3万5000円入る」などとうそを言い、300万円をだまし取るなどした疑い。龍ヶ崎市や稲敷市などでも同様の犯行を繰り返していたと見られる。

県消費生活センターの大谷義則係長は、契約時の注意点について「契約前に複数の業者から見積もりをしてもらうことや、工事が済んでいないのに『信

販会社からの確認があれば工事が済んだと言ってほしい』と言う業者などに気をつけて欲しい。契約後も、場合によってはクーリングオフなどができるので、なるべく早く相談を」と話している。

相談は消費者ホットライン(0570・064・370)か、県消費生活センター(029・225・6445)。

(2010年5月4日 読売新聞)

新着おすすめ [トップ](#)

河村市長、「軽」で初登庁
ワンナイトディスコに中年熱狂
斜陽館前の架線、隠します

県内の天気予報 [詳細](#)

きょう 19°C / — あす —
う 19°C / — す 19°C / —

読売新聞 ▶ ご購読のお申し込み

yorimo ▶ トクする会員サービス

三井住友VISAの自動車保険

“節約”をお考えの方へ

家計に優しい
驚きの保険料

「月払」で毎月の負担も軽くなる!

詳しくはこちら▶▶

地域のお墓情報サイト

お墓をお探しなら!!
お墓検索 [ハカダス](#)
詳しくは [ハカダス](#)
hakadass.yomiuri.co.jp [こちら▶▶](#)

茨城県 お墓・寺はハカダス

PR情報

【情報爆発】カード情報は宝の山? 多くの情報から価値ある一滴を絞り出せ!

FXはサラリーマンの味方★自分のパソコンで24時間いつでもトレード

地域 [トップ](#)

北海道 [検証](#) 北海道の教育

北陸 [ひと紀行](#)

中部 [幸せの新聞](#)

2010/05/10